

戦略重点科学技術(7)

大量の情報を瞬時に伝え 誰もが便利・快適に利用できる 次世代ネットワーク技術

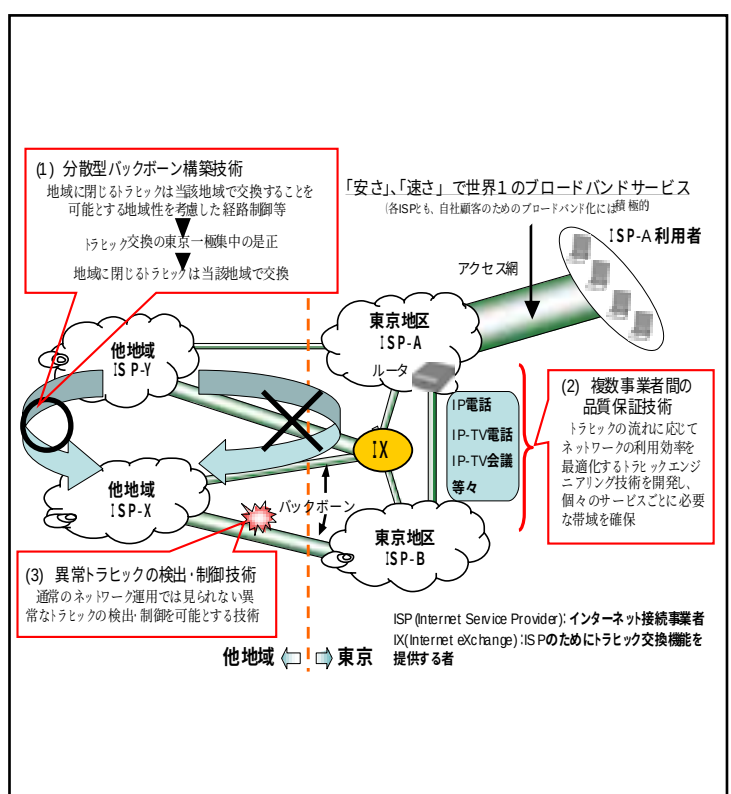
戦略重点科学技術(7) 大量の情報を瞬時に伝え 誰もが便利・快適に利用できる次世代ネットワーク技術

施策名: 次世代バックボーンに関する研究開発 [総務省]

平成19年度概算要求額: 2,000百万円
(平成18年度予算額: 1,799百万円)
実施期間: 平成17~21年度
(予算総額: 9,799百万円)

情報通信インフラの強化を図るとともに、高度な利活用に対応する超高速ネットワーク環境を整備するため、以下の技術の研究開発を推進する。

- ①分散型バックボーン技術
- ②複数事業者間の品質保証技術
- ③異常トラフィック検出技術

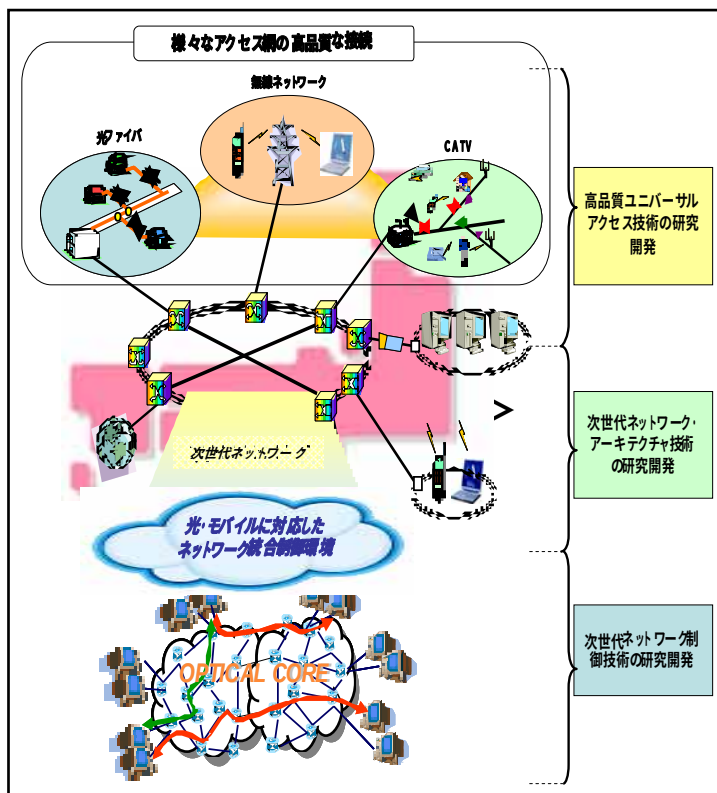


施策名: 次世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発 [総務省]

平成19年度概算要求額: 3,580百万円
(平成18年度予算額: 3,247百万円)
実施期間: 平成18~22年度
(予算総額: 17,200百万円)

ユビキタスネットワーク社会の基盤となるオールパケット型の次世代ネットワークを早期に実現するため、その基盤となる技術の研究開発を総合的に実施する。

- ①次世代ネットワーク制御技術の研究開発
- ②次世代ネットワーク・アーキテクチャ技術の研究開発
- ③高品質ユニバーサルアクセス技術の研究開発



施策名: フォトニックネットワーク技術に関する研究開発 [総務省]

平成19年度概算要求額: 3,490百万円
(平成18年度予算額: 2,830百万円)
実施期間: 平成18~22年度
(予算総額: 16,340百万円)

<施策の概要>

オール光通信実現のための基盤技術を2010年頃までに確立することを目的として、以下の課題につき、戦略的に研究開発を行う。

- (1)超大容量光ノード技術
- (2)光波長ユーティリティ技術
- (3)光波長アクセス技術
- (4)集積化アクティブ光アクセスシステム
- (5)全光ネットワーク基盤技術
- (6)極限光ネットワークシステム技術

